

三里塚・ジェット闘争貫徹ノ「国鉄35万人体制」粉碎ノ

12・3 労働者集会を成功させよう

日刊 動労千葉

81. 11. 19

No. 899

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五ノ六(公衆)三三三二七三〇七

右翼労戦「統一」粉碎！ 三里塚二期工事着工阻止！

全組合員の皆さん！ 今日、日帝・支配階級の軍事大国化・改憲への諸反動攻撃が激化する中で、労働運動の右傾化・産報化も急ピッチで進められている。右翼労戦「統一」は、明白に支配階級の攻撃であり、同盟・J.C.を先兵とした総評労働運動の解体・破壊を狙った攻撃である。われわれは、目前に迫った「十二・三労働者集会」を圧倒的に成功させ、三里塚二期着工阻止闘争への労働者階級本隊の総決起をかちとり、右翼労戦「統一」攻撃を粉碎しよう。

労戦「統一」は戦争への道

今日、労戦「統一」をめぐる、総評はもとより、日本労働運動全体が激しくゆれ動いている。いままでもなく労戦「統一」の攻撃は、資本の手先同盟・J.C.など右からの総評労働運動分裂・解体の攻撃であり、漸固として粉碎されなければならぬ。八〇年代中期の軍事大国化・改憲攻撃を柱とする戦争準備の一環として、戦争に協力加担する帝国主義労働運動づくり、これが労戦「統一」の正体なのだ。

総評解体の先兵 動労「本部」革マル反動分子

総評指導部は、同盟・J.C.に屈服し、自ら総評の解体に手をかすという大裏切りをおこない、労働者大衆の怒りの炎でやきつくされようとしている。

ところが、こともあろうに動労「本部」革マル反動分子は、「全的統一」を叫び、富塚執行部の暴力的先兵となりはて、右翼労戦「統一」に反対する広範な労働者大衆にむかって公然と白色暴力をふるっている。(十・二〇反戦デー、十一・四総評大会など)、いまこそ戦闘的総評労働運動防

衛のため、革マル反動分子を一掃しなければならぬ。

反戦のとりで 三里塚から反撃を

巨万の労働者階級本隊が、三里塚二期決戦に決起すること、ここに軍事大国化・改憲攻撃、右翼労戦「統一」粉碎の勝利の道がある。国家権力の悪虐非道な「農民殺し」土地強奪」を許してはならない。三・二八二期決戦にむかって陸統と決起する労働者階級の力をもって、「三里塚・反合」八二春闘の爆発をかちとろう。



10/11 闘争を突破口に三里塚二期着工阻止へ前進しよう

右翼労働戦線「統一」粉碎・三里塚二期着工阻止 十二・三 労働者集会

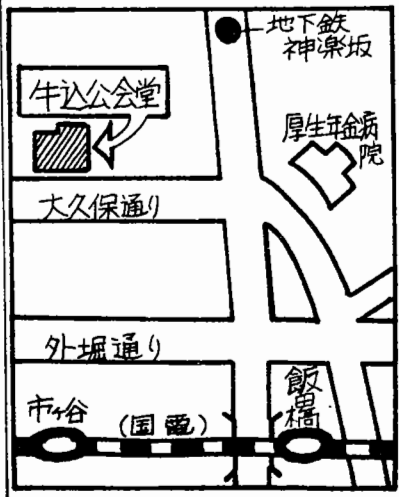
主催 国鉄千葉動力車労働組合

基調報告 動労千葉書記長 中野 洋

日時 一九八一年十二月三日 午後五時三〇分

場所 東京・牛込公会堂

(国電・飯田橋駅、地下鉄・神楽坂駅下車)



全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！